

淡路島。

そこはまるで
旅するように
暮らせる島でした。



あの頃のわたしは、
わたしじゃない、別の誰かを生きていた。

なんとなく、ずっとモヤモヤしていて

なんとなく、ここじゃないのも分かっていた

なんとなく、もっと楽に生きたいと思っていた。

「いつか変わる」そう思ってきたけれど

その「いつか」がずっと、分らずにいた。

与えられた「肩書き」に守られ

「安定」という枠の中から抜け出せずにいたあの頃

初めて出会った、淡路島。

何で来てしまったのか分からない。

どうして惹かれたのか分からない。

だけど、淡路島じゃなきゃいけない気がした。

淡路島だから、手に入れられる気がした。

見つけよう、わたしの時間。
はじめよう、わたしの幸せ。

豊かな自然を楽しみながら都会の空気も感じられる

島だけど、島らしくない

淡路島だからできる新しい暮らし

兵庫県の南

四国と本州を繋ぐ、瀬戸内海に浮かぶ島。

東京 23 区程の大きさを占め

人口は約 100 分の 1。

神戸から繋がる世界最長のつり橋・明石海峡大橋と

四国へ繋ぐ大鳴門橋が架かり、

閑空や神戸空港からも約 1 時間とアクセスの良さが人気の島。

それが、日本でいちばん最初にできた国生みの島、「淡路島。」



淡路島って??

■場所

兵庫県…淡路市・洲本市・南あわじ市
3市から成る島

■面積 / 人口 (※30年1月1日兵庫県取りまとめ推計人口)

595.71 km² / 131,567 人

■平均気温 (※1981～2010年気象庁観測データ)

15.5℃

3つの海峡が運ぶ
海風と温かい気温が
食物を美味しく育てる！



■食べ物

食料自給率はなんと 100% 越え！
かつて御食国と呼ばれ
天皇にも献上していたほど食べ物が豊かな島。

<特産物>



■生活インフラ

“島暮らし”のイメージを覆す、充実の環境！！

*公共施設

- ・市民体育館
- ・市民会館
- ・図書館

*医療施設

- ・大型医療センター
- ・各種専門医院

*教育機関

- ・保育園
- ・小・中・高
- ・専門・大学

*金融機関

- ・三井住友銀行
- ・ゆうちょ銀行
- ・淡路信用金庫
- ・淡陽信用組合
- その他

*商業施設

- ・大型スーパー
- ・コンビニエンスストア
- ・衣料店
- ・ドラッグストア
- ・家電量販店
- ・飲食チェーン店

生活するには十分な設備が
そろっています★

■交通アクセス ▲淡路島に電車は通っていません！

～東京からのルート～

◇飛行機の場合

所要時間 最短 約 3 時間

交通費 最安 約 10,000 円 前後



◇新幹線の場合

所要時間 最短 約 4 時間半

交通費 最安 約 15,000 円 前後



◇夜行バスの場合

所要時間 約 7～8 時間

交通費 約 6,500～9,500 円



■高速バス

※早朝 5 時台～最終 23 時台まで 1 時間に 1～2 本ペースで運行



■飛行機



■船



※掲載の所要時間は最速のもので、発着場所、時間帯、交通状況等により、多少異なる場合があります。また、乗り換え、待ち時間は含まれておりません。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

そこでわたしが出会ったのは
かけがえのない
日々でした。

淡路島だから聞こえた、心の声。
淡路島だから気付けた、大切なこと。

Day1

島で暮らす

【6:00 a.m. ハロー、淡路島】

これから始まる新しい暮らし、新しい人生。
ワクワクした高揚感と、ほんの少しの緊張感。

不安も全部、溶かすように
温かい朝日が、わたしを迎え入れてくれた。

これからよろしくね、淡路島。



シンプルな生活

【3:00 p.m. お気に入りの部屋】

ここでの生活は、モノが多すぎる都会とは違って
本当に必要なモノ、必要な量が見えやすいから

自然といらないものが削ぎ落されていく。

わたしの考え方は、
まだまだムダが多いけれど。



Day12

仕事始め

【2:00 p.m. 視察】

ありがたいご縁で始まった仕事。

なんてことない、
東京にいたころの経験を
そのまま生かせる仕事だ。

…何の問題もない。



Day30

恵まれた環境

【1:30 p.m. 取材】

淡路島に来てからというもの、
実は知らないことだらけだった自分に
これでもかと言うほど気付かされた。

ずっと東京にいたままだったら、
知らずに終わっていたことが
ぎっとたくさん、あったんだろうな。



Day55

自分らしく生きる

【2:00 p.m. 進む】

誰かが無理をすれば
どこかでまた新しい無理が生まれる。

誰かの犠牲の上にある幸せは
いつか必ず壊れる。

期待に応えられなかった、そんなわたしに

「なにがあっても良かったと思うこと」

最後までそう言って見送ってくれたあの人のためにも
もっともっと、強い自分になろう。



Day49

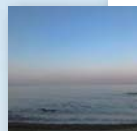
ホームシック

【5:00 p.m. 一人の時間】

久しぶりに、東京の友人へ電話をかけた。

声を聞いた瞬間、いっぱい涙が溢れてきて
ひとしきり泣いたら、
今朝から続いていた頭痛も治った。

変わらないのは環境のせいじゃなくて
変える勇気の無い、自分の弱さだった。



Day43

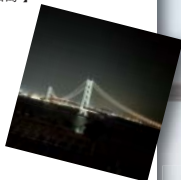
変わらない日常

【0:00 a.m. ただいま、淡路島】

初めての神戸は
朝から晩まで仕事だった。

明日も、明後日も…

なんか。
東京にいたころと何も変わってない。



わたしは…何しに淡路島へ来たんだっけ？

Day83

新しい夢

【0:30 a.m. 胸がいっぱいの夜】

足元を見れば、思わずすくんでしまいそう。
不安だと口にすれば、全てが崩れてしまいそう。

でも、自分で選んだからには進むしかない。

「人間、思ったときがピークやで」

やろう、いまがそのタイミングだ。



Day119

迷い

【2:30 p.m. 淡路の母】

それでも不安はつきもので
思うままに走ってみても
何が正解か分からなくなる。

「その直感が、正解ちゃう？」

そうだ、誰かが決めることじゃない。
正解は、自分で決めるんだ。



Day133

幸せのカタチ

【11:00 a.m. 出合いは必然】

やりたいことや好きなことで生きていく時代が、
多分、もうすぐそこまで来ている

淡路島はまさに、そんな人たちが多く。

「自分が自分らしくいられる場所にいることが、何よりの贅沢」

そう、みんな自分自身と向き合ったから
いま、ここにいる。

そして、誰のための人生でもない。
きちんと自分が幸せだと思う人生を、生きている。



Day190

たどり着いた場所

【7:00 a.m. 始まりの朝】

“もっと自分を許せるようになりなさい”

なんて、人には簡単に言うくせに
いちばんできていないのは
自分自身だった。

自分に優しくなること。
カッコつけずにありのままにいること。
素直に言葉にすること。
笑顔でいること。

そして、人に頼ること。

それを教えてくれたのは
大きな自然と島時間の中で出会った
淡路島の素敵な人達でした。

きっとこれからも、いろんなことがあると思う。
でも、絶対に乗り越えていける。
いまいるここで、いまいる人たちとなら。
だからわたしは、
旅するように生きるヒントが転がるこの島で…
この淡路島で、生きていく。



Day180

いまを生きる

【8:00 p.m. みんなで囲む温かい食卓】

生きていけば
うんざりしてしまうくらい
日々いろんなことがあるけれど。

「全ての経験は、また必ず誰かの役に立つ」

どんなに傷ついても、
また前を見て
確かなモノを求めて進み続けられ

最後には必ず、大切なモノだけが残る。

先のことを考えて不安を抱くより
いま、目の前の時間を大事にしよう。

だってわたしは、
ずっと笑って生きていたいから。





◆お問い合わせ◆

移住定住の相談窓口「あわじ暮らし総合相談窓口」
〒656-0002 兵庫県洲本市中川原町中川原 92-1
TEL: 090-1247-1589 (相談員直通)
E-mail: info@awajigurashi.com
受付時間: 月曜～日曜 9:00～17:00
休日: 年末年始

HP (<http://awajigurashi.com/>)・Facebook で、
イベント情報や移住定住情報などを発信しています。

あわじ暮らし

検索

